

湯河原町水道ビジョン・経営戦略（案）及び下水道事業経営戦略（案）について

1 趣旨

このたび、上水道事業及び下水道事業の10年間（令和8年度～17年度）を計画期間として、投資計画及び財政計画を盛り込んだ経営戦略（案）を策定しました。今後、パブリックコメントを実施し、戦略としてとりまとめを行います。

2 投資計画の考え方

これまでは、老朽化した水道管布設替えを順次進めてきました。能登半島地震では、未耐震の基幹施設の被害が甚大で、生活環境への影響が長期に及びました。この教訓をふまえ、上・下水道施設ネットワークの急所となる浄水場や浄水センター等を重点的に耐震化を進めます。国等の財政支援についても働きかけていきます。また、埼玉県八潮市の大規模道路陥没事故等をふまえ、逐次点検し布設替え等を進めます。

3 財政計画

	今回の記載要旨	前回料金等改定
水道ビジョン・経営戦略（案）	これまでは、効率的な運営により、黒字を維持している。しかし、浄水場等基幹施設の耐震化事業が必要であり、それらを本格実施するためには、適切な料金改定が必要である。	平成28年4月
下水道事業経営戦略（案）	これまでも町一般会計から繰入し、経営を維持している。今後も効率的な運営に努めるが、健全性確保のためには一般会計からの繰入は必要である。また、使用料改定について検討する必要がある。	令和6年4月

4 今後の進め方

上・下水道の経営戦略をとりまとめ、その後、まず、水道事業について、耐震化の事業計画、利用者負担のあり方や負担額（水道料金）等を、その後、下水道事業について同様の検討を行います。そのため、10月に「湯河原町上下水道経営審議会（仮称）」を設置する予定です。